



2023年2月28日

各位

会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長 金子 英樹
(コード番号: 4373 東証プライム市場)
問合せ先 取締役 CFO 江野澤 慶亮
(Tel. 03-3539-7370)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年2月28日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、2022年4月28日に公表した2023年3月期の連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2022年4月28日公表)	33,700	6,777	6,610	4,586	80円10銭 ^{*1}
今回修正予想 (B)	34,900	7,463	7,310	5,000	89円18銭 ^{*2}
増減額 (B - A)	+1,200	+686	+700	+414	+9円08銭
増減率 (%)	+3.6%	+10.1%	+10.6%	+9.0%	+11.3%
(参考) 前期実績 (2022年3月期)	30,579	6,362	6,191	4,204	83円06銭

^{*1} 2022年4月28日に公表した前回発表予想に記載している基本的1株当たり当期利益は、新株予約権の行使により、期中平均株式数が2022年3月期の期末発行済株式数(自己株式を除く)から1,744,282株増加すると仮定して算定しております。

^{*2} 2023年2月28日に公表した今回修正予想に記載している基本的1株当たり当期利益は、新株予約権の行使により、期中平均株式数が2023年3月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)から251,522株増加すると仮定して算定しております。

2. 修正の理由

近年、デジタル技術の進展・普及に伴い、テクノロジーを駆使してビジネスモデルそのものを改革していく、DX（デジタルトランスフォーメーション）への対応が急務となっております。

当社グループにおいても、構造的な底堅いDX需要に連動する形で、大手金融機関の深耕が進む金融リテールを筆頭として、生損保一体型基幹ソリューションの大型案件が進行中の保険ソリューションや、創設2年目のXspear Consulting 株式会社を提供主体とする戦略/DXコンサルティングの業績が極めて順調に推移していることを踏まえ、連結業績予想を上方修正いたします。なお、期末配当につきましては、直近での新株予約権の行使等の状況も考慮し、前回発表予想（1株当たり25円）を据え置いております。

当社は2020年12月4日に、2024年3月期（来期）を最終事業年度とする3か年の中期経営計画を公表しております。今期は中期経営計画2年目に当たり、今回修正した連結業績予想は、売上収益、営業利益、更には親会社の所有者に帰属する当期利益において、最終事業年度の業績目標水準を一年前倒しで達成する数値となっております。

なお、当社は、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾吉孝）および株式会社SBI証券（本社：東京都港区、代表取締役社長：高村正人）と、2023年1月30日に締結した資本業務提携契約に基づき、合弁会社「SBI シンプレクス・ソリューションズ株式会社」を2023年2月28日に設立いたしました。本件による今期の連結業績に与える影響は軽微であり、本格的な連結業績への貢献は来期以降になると判断しております。

上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上